

邑南町
地域コミュニティのあり方検討委員会
－ 会議資料 －

**第 1 回 邑南町における
地域コミュニティの現状と課題**

2022年5月

邑南町地域コミュニティのあり方検討委員会準備会

内 容

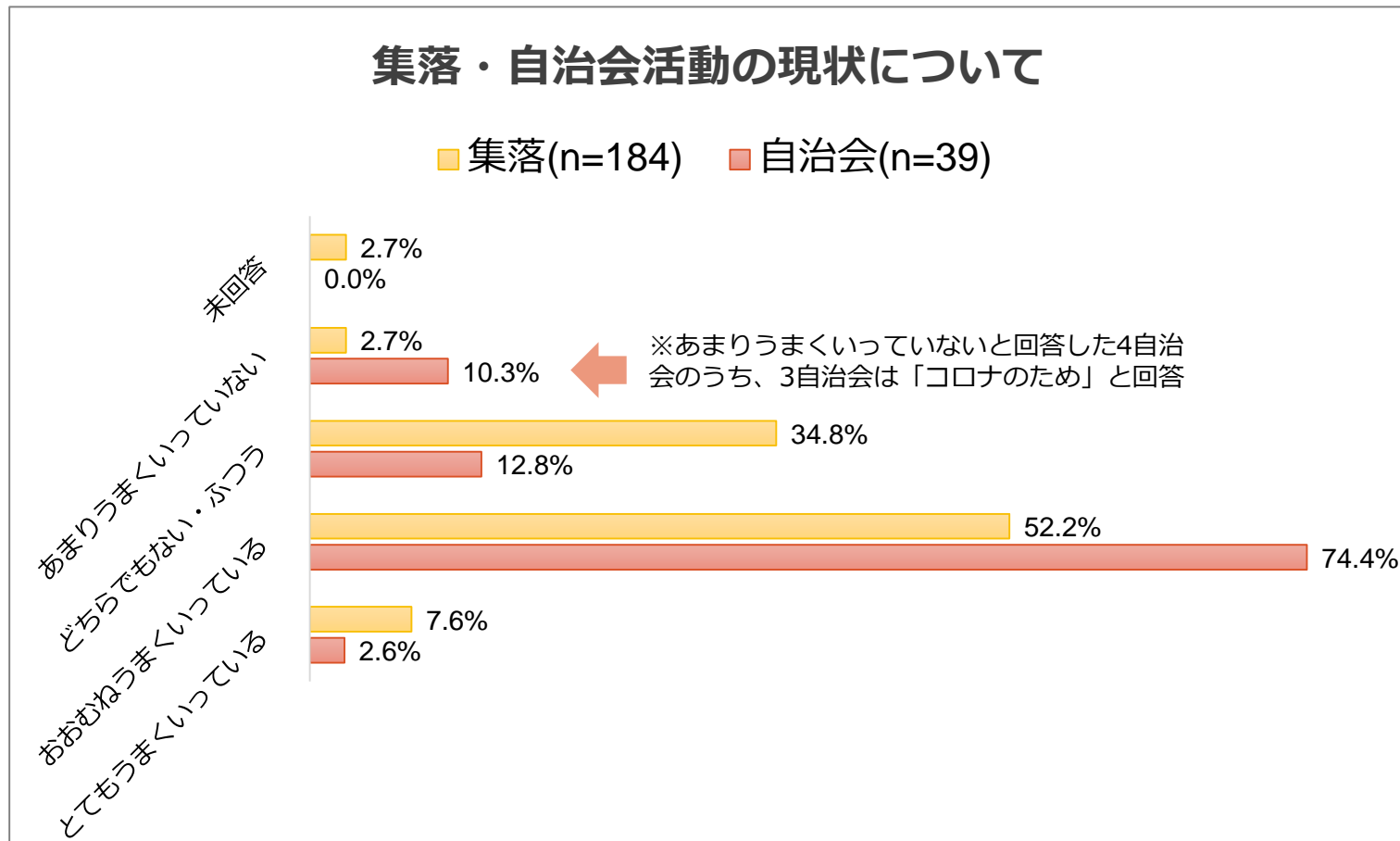
1. 邑南町のコミュニティ活動の現状
2. 邑南町のコミュニティの構造
3. 行政からの依頼事項
4. 邑南町の人口推移と将来人口推計

邑南町のコミュニティ活動の現状

コミュニティ活動の現状はおおむね良好

2021年度に、町内の集落、自治会を対象とした実態調査を実施。

集落の59.8%、自治会の78%が現状「うまくいっている」と回答。



コミュニティの課題

①役員に関すること、②活動に関すること、③行政からの依頼事項が上位
特に自治会は活動に関することが集落より高い。

集落

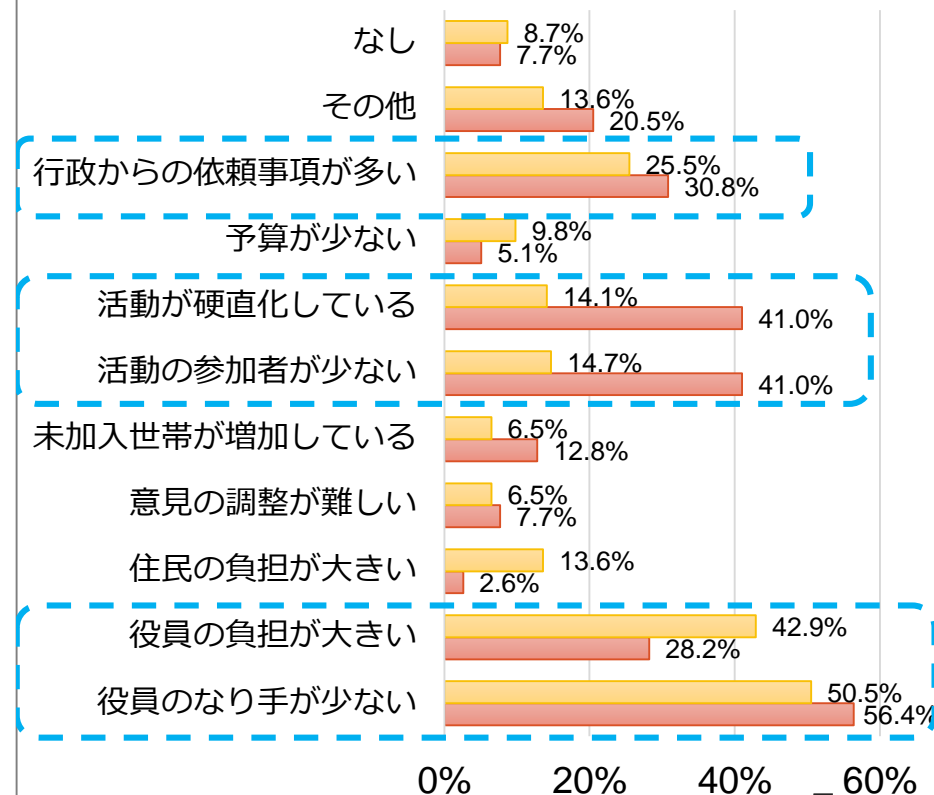
1	役員のなり手が少ない	50.5%
2	役員の負担が大きい	42.9%
3	行政からの依頼事項が多い	25.5%

自治会

1	役員のなり手が少ない	56.4%
2	活動が硬直化している	41.0%
	活動の参加者が少ない	41.0%
4	行政からの依頼事項が多い	30.8%

コミュニティの課題

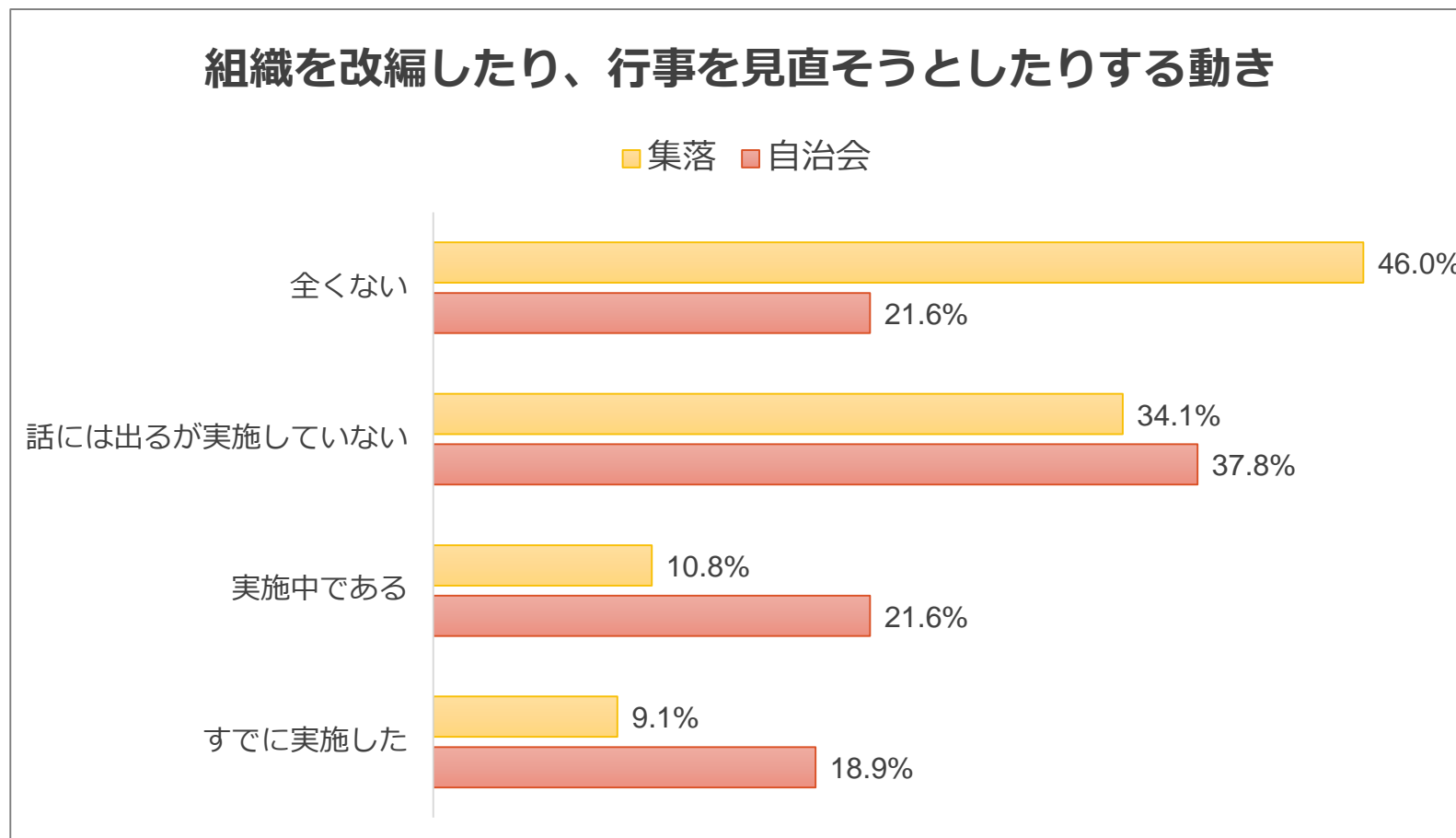
■ 集落(n=184) ■ 自治会(n=39)



資料：2021年度集落実態調査、自治会実態調査

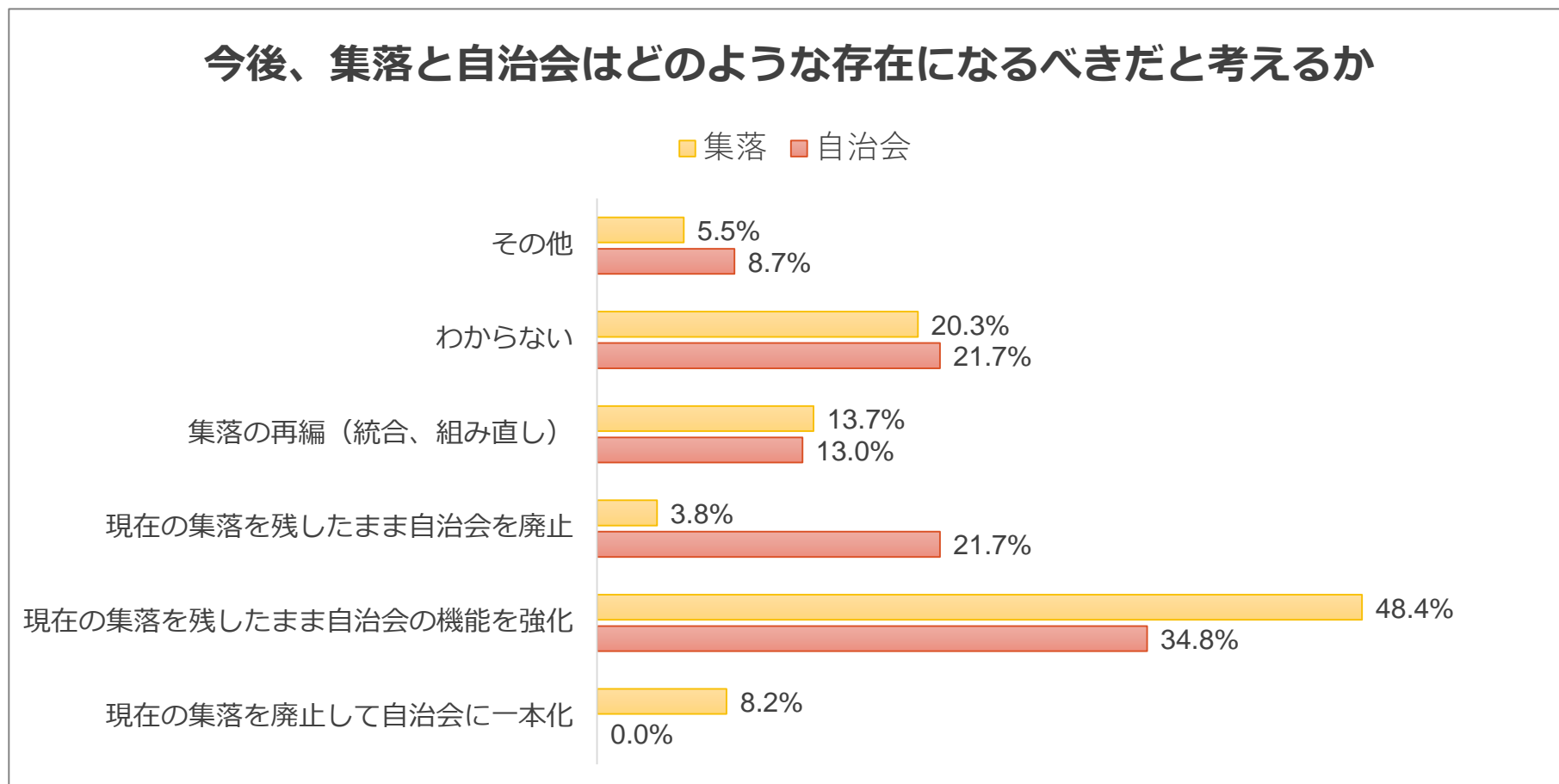
地域における見直しの動き

組織改編や行事見直しの動きは、集落の20%、自治会の40%で実施済または実施中。話には出るが実施していない集落、自治会は全体の3分の1。



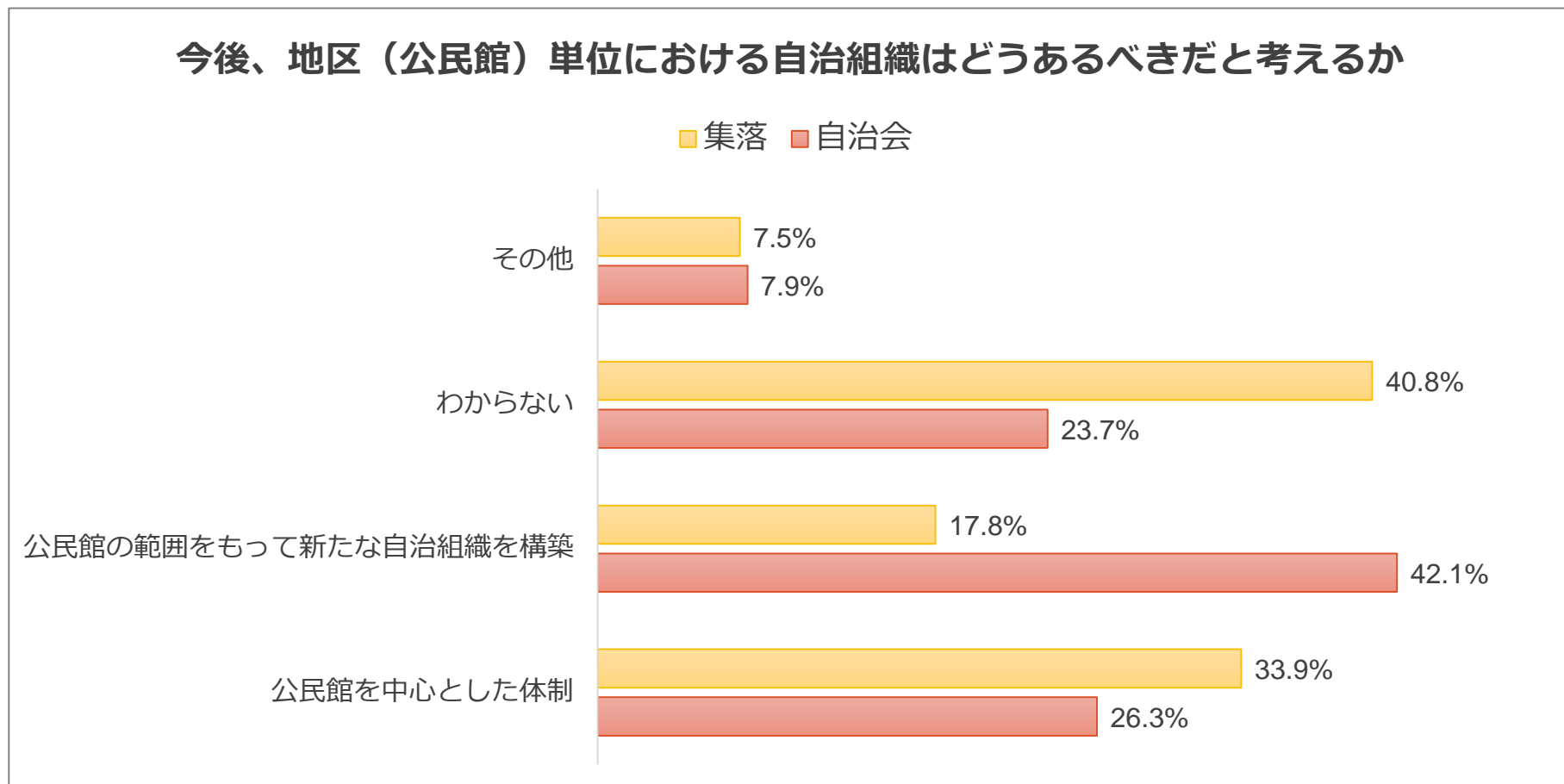
今後の集落と自治会の存在

集落、自治会ともに、「集落を残したまま自治会機能強化」が多い。自治会の回答には、自治会を廃止も一定数ある。



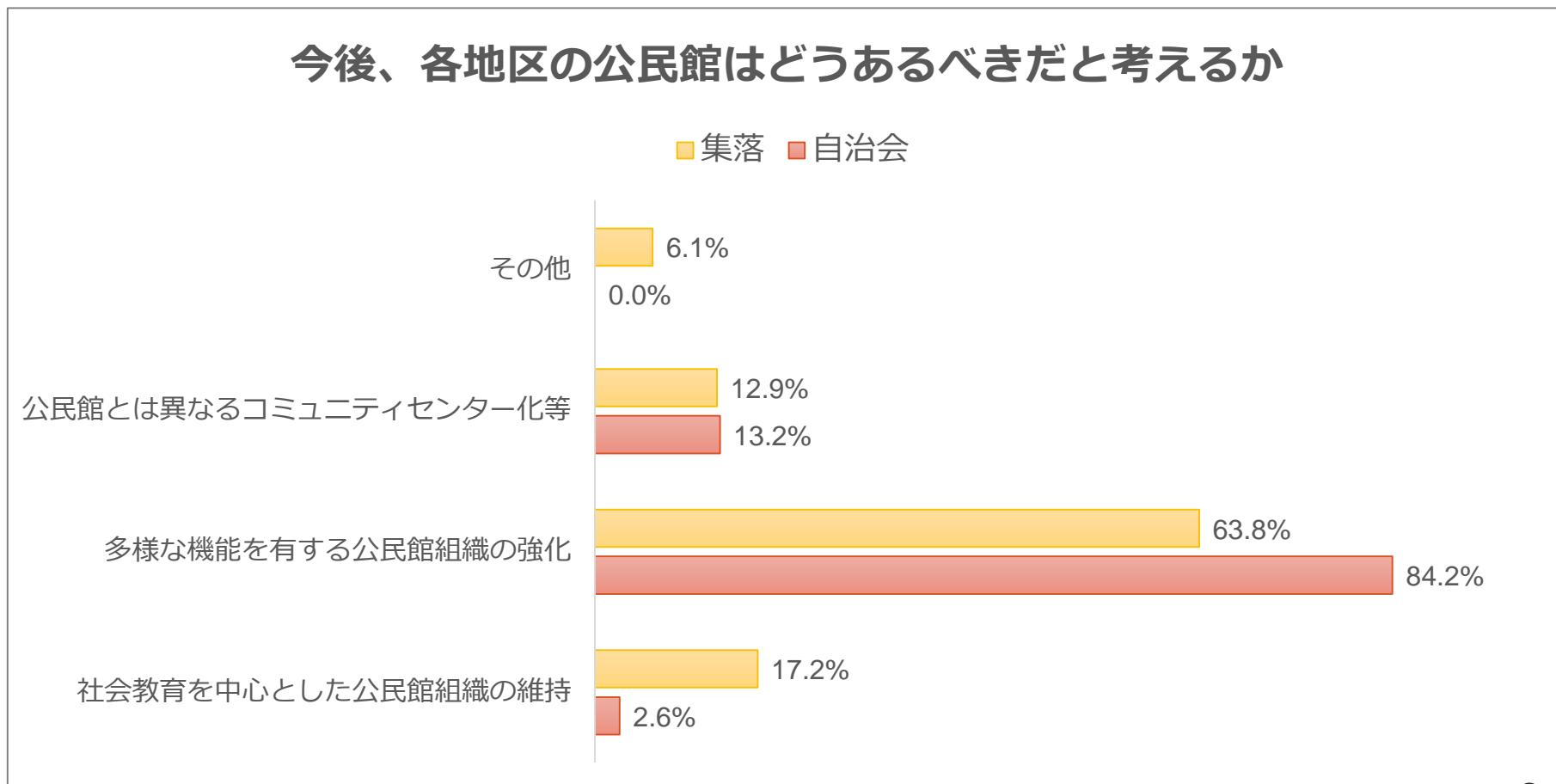
地区単位における自治組織のあり方

集落では「わからない」が多数。自治会では「公民館の範囲をもって新たな自治組織を構築」が多数。



公民館はどうあるべきか

集落、自治会ともに「多様な機能を有する公民館組織の強化」が多数。



邑南町のコミュニティの構造

邑南町のコミュニティの構造

邑南町のコミュニティの基本構造は、

「地区」、「自治会」、「集落」の3階層からなる。



地区

昭和合併時の旧町村
現在の公民館区

自治会

地区内の複数集落をもって組織
石見(1972年～)
瑞穂・羽須美(平成の合併前後～)

集落

もともとある世帯単位の集まり
町営住宅などの団地で形成されるものもある

コミュニティの階層別の組織

地区レベルには目的や属性による多様な組織が存在。

自治会・集落レベルは地縁による組織。

地区

主な目的型組織

- ・地区社協
- ・地区体協
- ・公民館活動推進協議会
- ・地区別戦略 等

主な属性型組織

- ・老人会
- ・青年団体
- ・PTA
- ・子ども会 等

自治会

地縁型住民自治組織

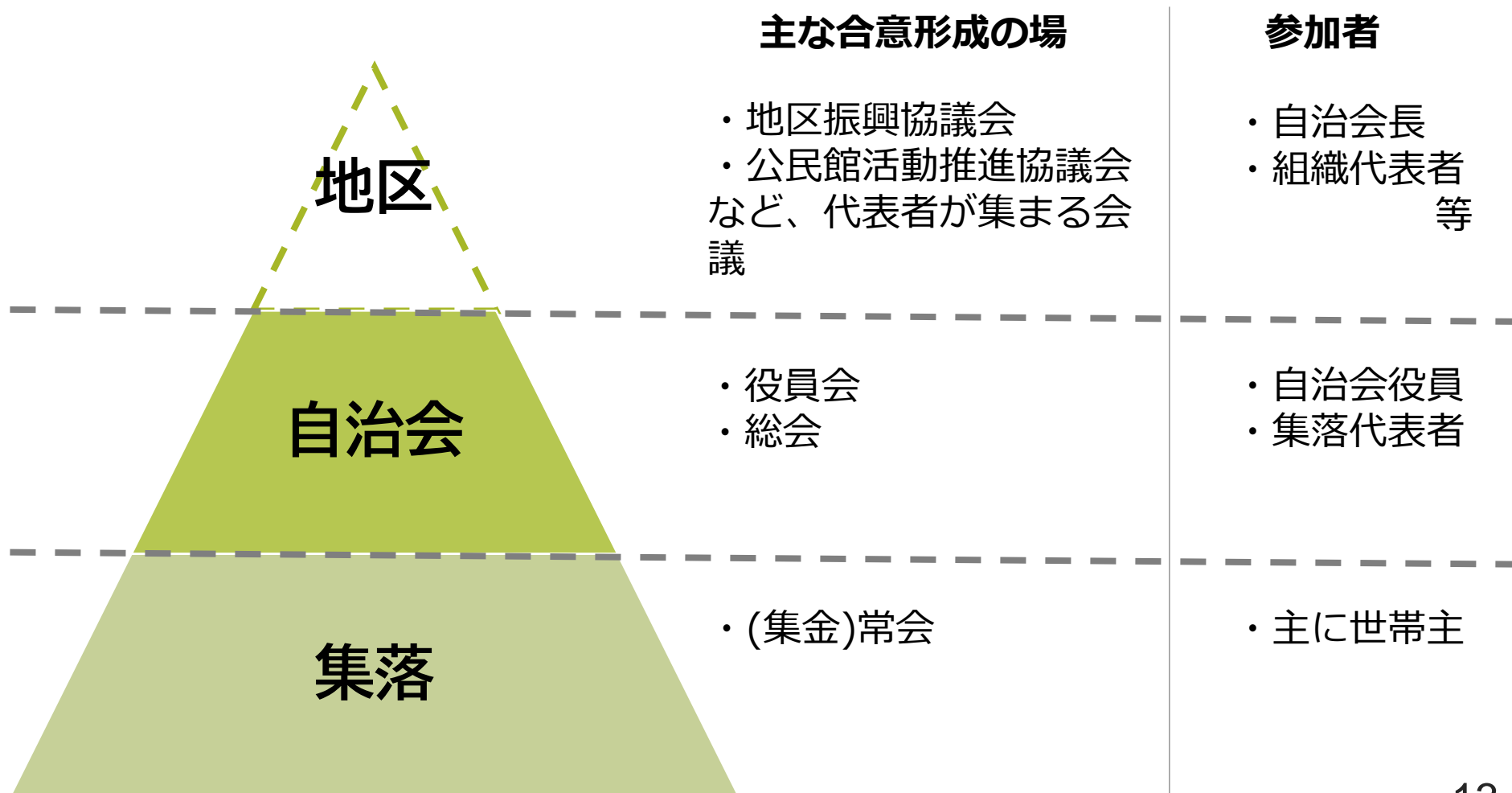
- ・自治会
 - ・女性部
 - ・青年部
 - ・老人会、子ども会 等

集落

- ・集落（班）

コミュニティの構造と合意形成機能

地域の物事は主に会合で決められる。意思決定に参加するのは世帯主が多い。上の階層ほど意思決定への住民参加は遠のく。



集落が抱える様々な役の例

地域が抱える役は、官民合わせて20近く存在。集落長が兼ねる役も多い。

※表中の役の有無は集落によって異なります。

集落固有	行政関係	農林漁業	宗教団体関係	目的型組織役員
1.集落長(班長)	4.行政協力員 (≡集落長)	6.森林組合	12.仏教婦人会	15.体協
2.会計	5.保健衛生委員 (集落長が兼ねる場合も)	7.需給調整委員	13.寺総代	16.交安協
3.女性部		8.農業共済	14.宮総代	17.地区社協
		9.漁協		18.公民館委員
		10. J A		
		11.野猿組合		

その他

P T A、水道委員会、部活動後援会、ハートフルしまね委員、中山間直払連絡員
老人クラブ、集落監事、JA女性部、赤十字会員募集・会費（全集落）

行政からの依頼事項

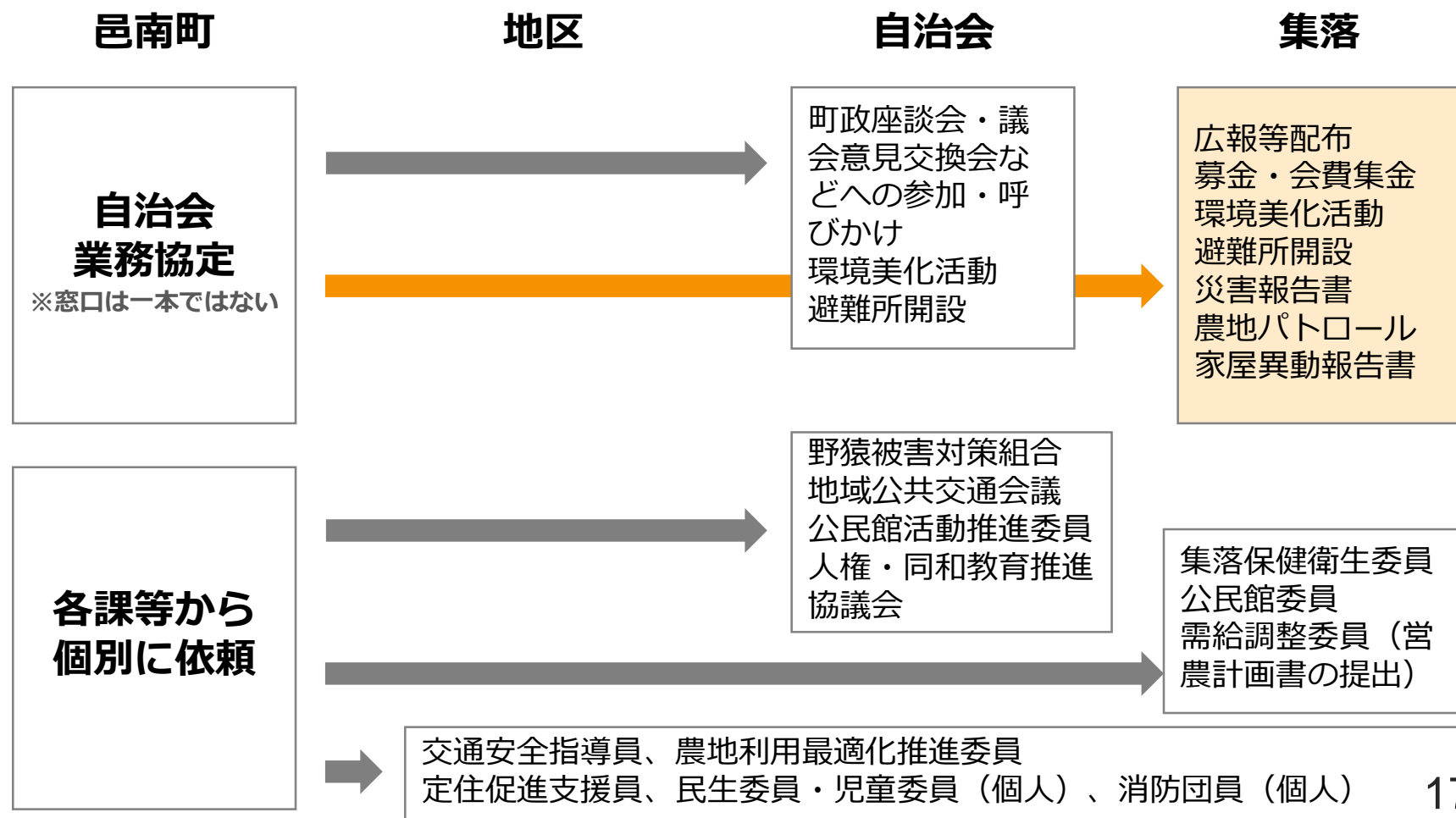
行政からの依頼事項（主なもの）

行政からの依頼事項は、自治会業務協定に基づくものが主なものとなる。

自治会業務協定	自治会が担う役割	集落の行政協力員が担う役割
広報 広聴	町政座談会 議会意見交換会	広報等配布 町政座談会
募金の集金・収納		赤い羽根共同募金 交安協会費 赤十字会員募集・会費 緑の募金
交通安全 防火、防犯、防災	災害時緊急連絡協力	交通安全協会（委員） 避難所開設（集落）
環境整備 環境保全	環境美化活動	環境美化活動
行政の各種計画に係る提案 行政の各種事業に係る提案		
意見具申	要望書の提出等	
各種調査業務		農地パトロールの協力 家屋異動報告書 災害報告書
その他	自治会活動保険プラン調査 活動補助金申請 建物共済支払い	自治会長会議

行政からの依頼事項（主なもの）

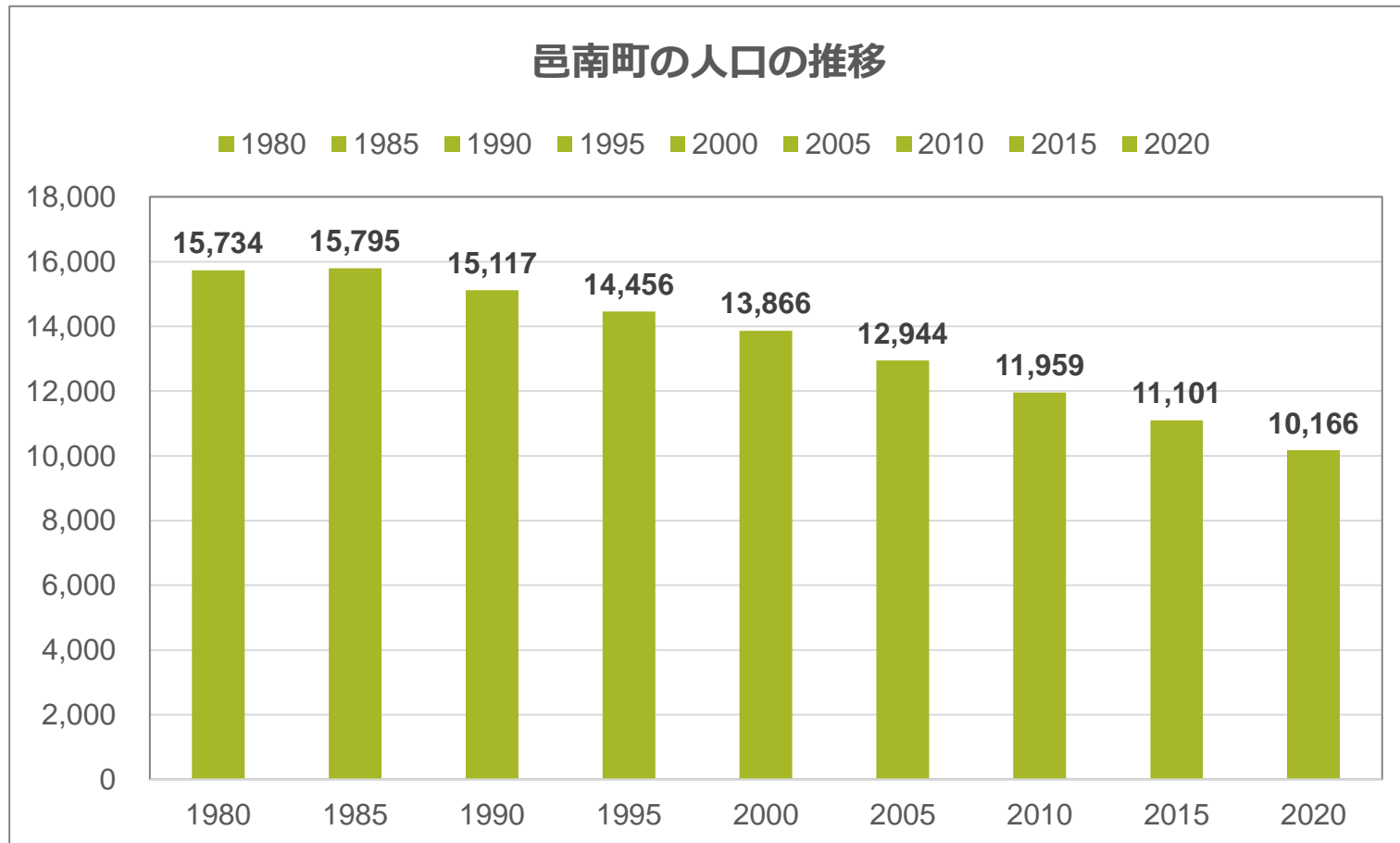
自治会業務協定に基づくものは、実態としては集落が多く役割を担っている。また、業務協定とは別に各課から個別に依頼しているものもある。



邑南町の人口推移と将来人口推計

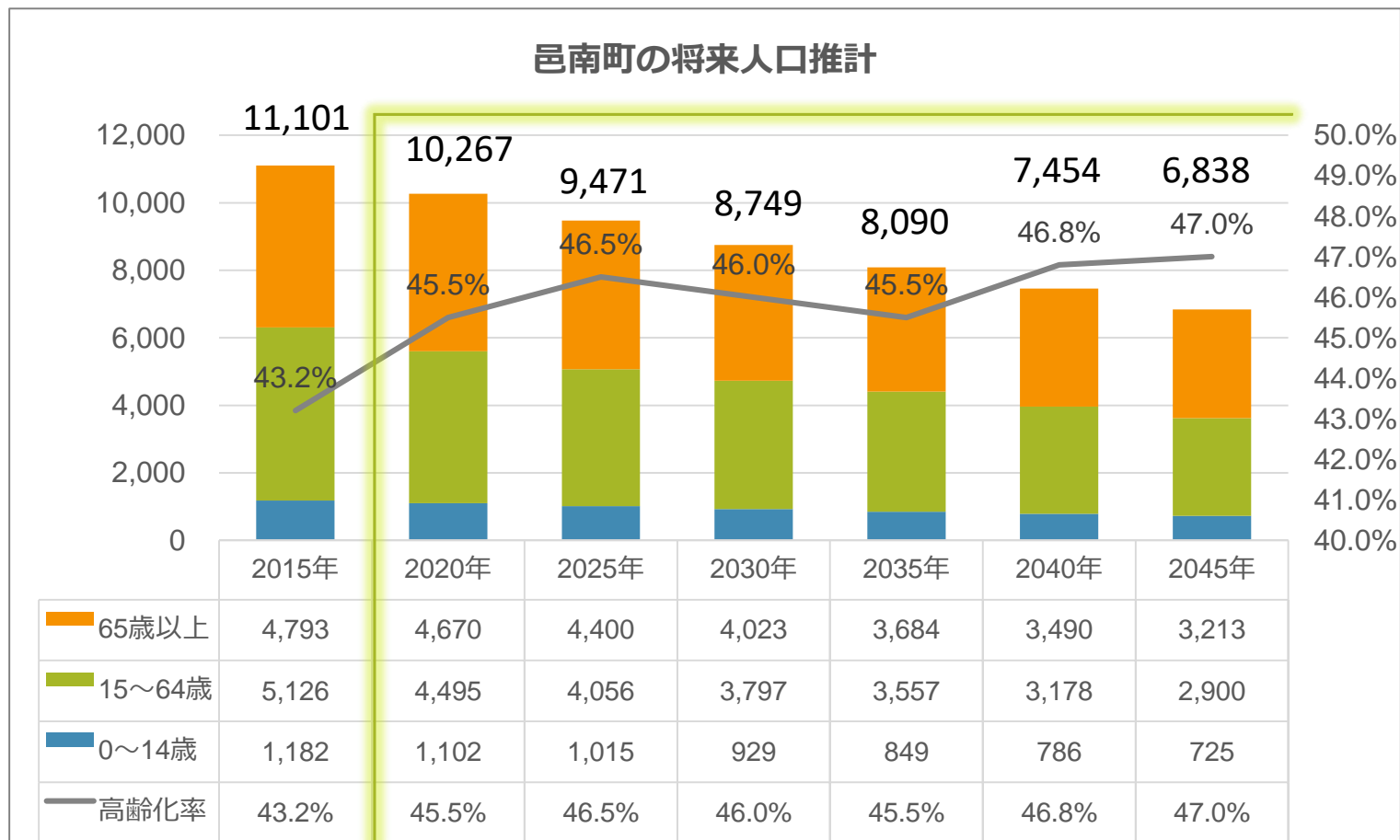
人口減少が続く

本町の人口は、1985年をピークに減少。2020年国勢調査の確定値は10,166人。



将来的にも人口は減少、高齢化率は上昇

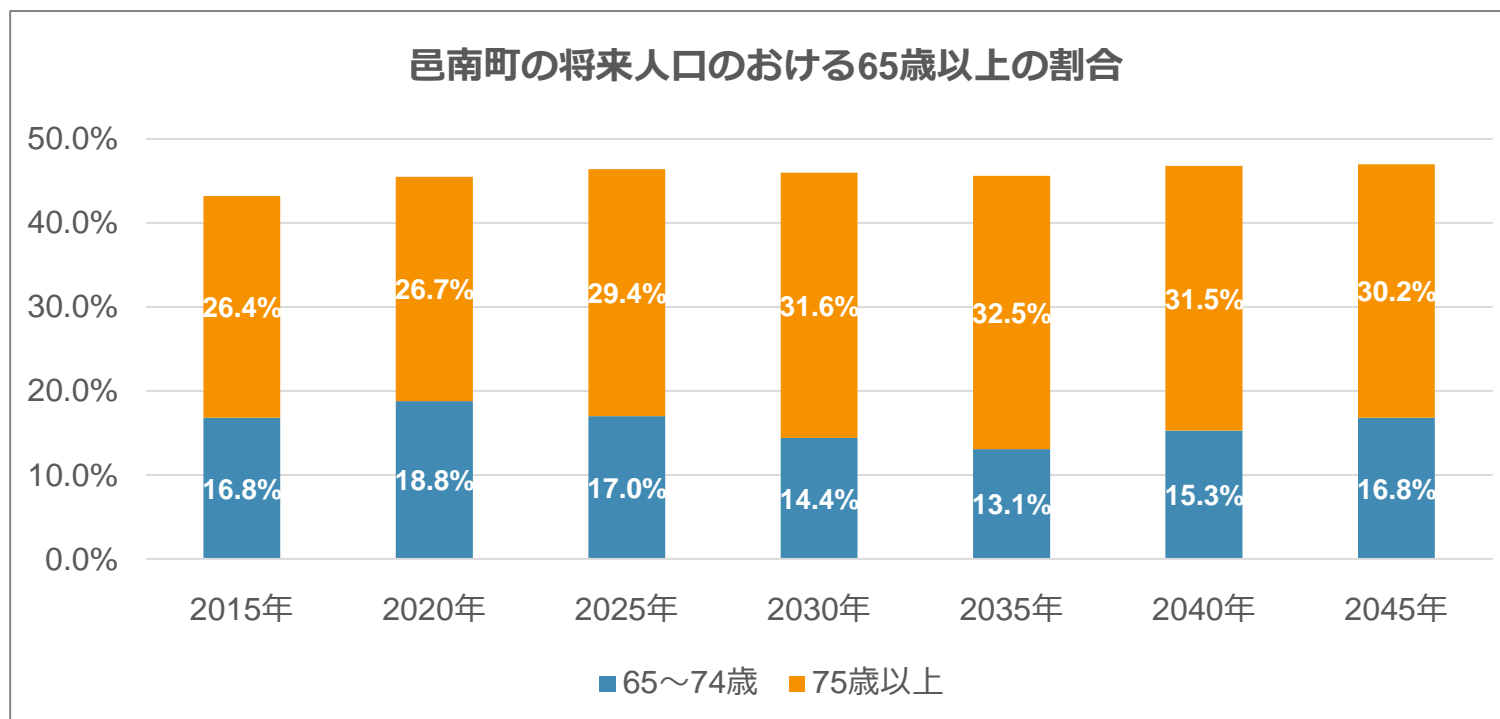
2018年の社人研推計値を年齢3区分（0～14歳、15～64歳、65歳以上）で見ると、2045年は人口6,838人で、高齢化率47%となる見込み。



高齢者人口のうち75歳以上が約3分の2を占める

今後は後期高齢者（75歳以上）の割合が増える見込み。

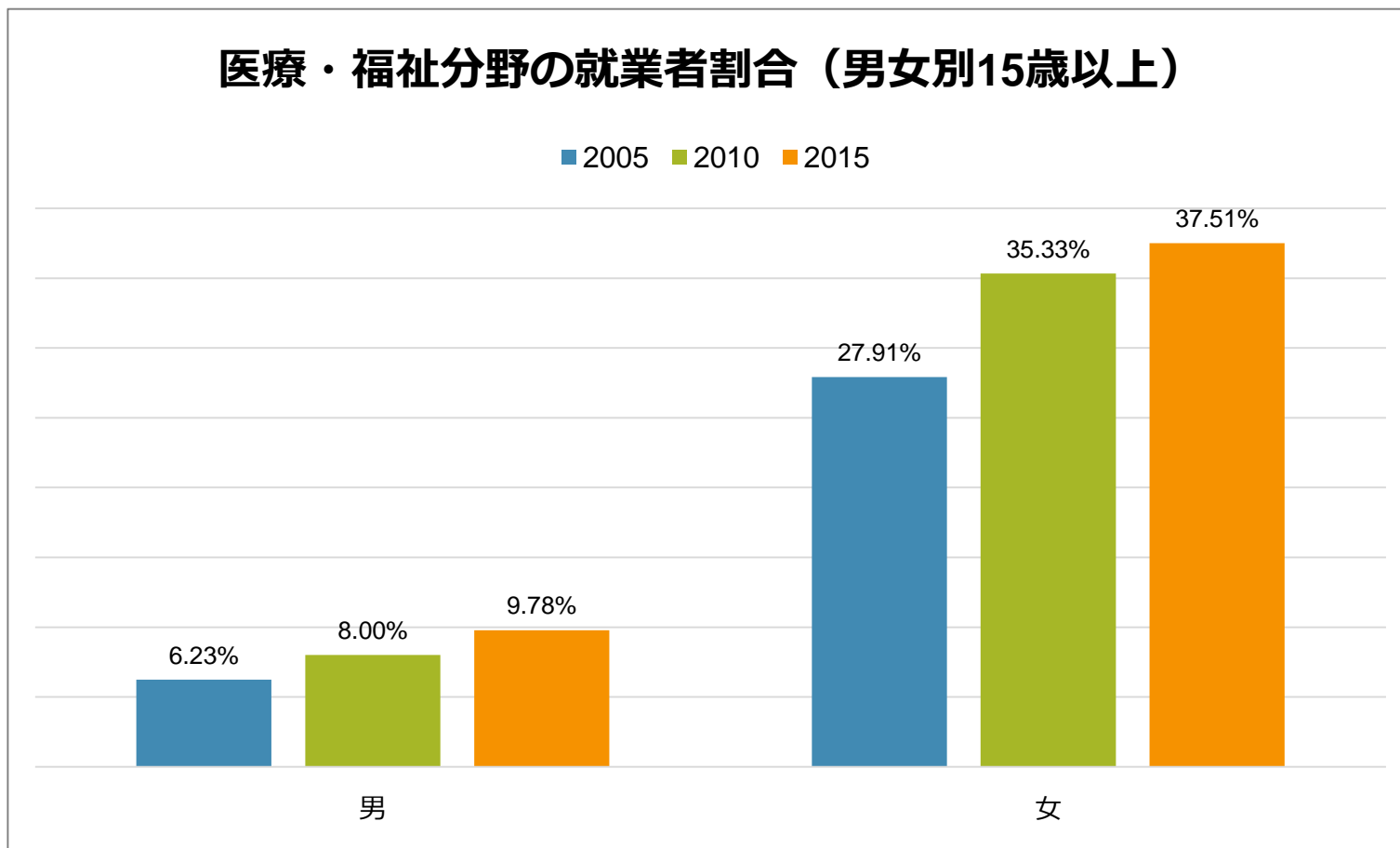
2019年10月1日の日本の高齢化率28.4%（75歳以上は14.7%）と比べても高齢化率は高い。



	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
65歳以上	4,793	4,670	4,400	4,023	3,684	3,490	3,213
うち、75歳以上	2,929	2,741	2,787	2,763	2,628	2,346	2,063
75歳以上が占める割合	61.1%	58.7%	63.3%	68.7%	71.3%	67.2%	64.2%

就業状態にも変化

町内在住者の医療・福祉分野への従事者の割合が増加しており、夜間・休日勤務など働き方も多様化していると考えられます。



資料：2005,2010,2015年国勢調査

邑南町のコミュニティの構造

邑南町のコミュニティの基本構造は、

「地区」、「自治会」、「集落」の3階層からなる。

